成長への環　つながりの和　地域との輪

稲付中学校だより～自律と自立～

NO.２
令和７年５月１ 日
校長　名取　秀康

～ある生徒の「ありがとう」で感じたこと～

校長　名取　秀康

令和７年度がスタートして早くも一ヶ月が経ちました。150 名の新入生は皆、ほどよい緊張感の中、稲付中学校の生活の軌道に乗れてきたようです。本校の朝は、登校時の元気のよい挨拶から始まり、今年度から自主的な活動となった朝読書の時間へと続きます。朝読書の時間はまるで地域図書館の閲覧室のように静まりかえった雰囲気の中で自分の好きな本を黙々と読んでいます。その一方で５組の朝の自主的な活動は「ランニング」です。他の生徒よりもさらに 10 分早く登校し、５分間走を行っています。（時間は徐々に増やしていきます）そんな５組の毎朝のルーティーンでのほっこりした場面を紹介します。

５組の朝ランニングはタイマーとコーンの準備から始まります。本校の校庭は他の中学校に比べて若干校庭が狭いという弱点があります。そのため、第４コースにコーンを置いて１週 150ｍのトラックを走るようにしています。その準備をするためにはさらに早く登校する必要があります。昨年度までは卒業した女子生徒Ｔさんが誰に言われるでもなく自主的に準備をしていました。Ｔさんが卒業した後、みんなＴさんの大変さと偉大さに気付いたことでしょう。そして、新年度になったある日、一人の女子生徒が早く来て準備をしてくれていました。すると、一人の生徒の口から自然と「〇〇さん、ありがとう」という感謝の言葉が出てきました。当然と言えば当然の言葉ですが、誰かがやってくれたことに対して当たり前と思わず、「ありがとう」と言えるその生徒の素直さからほっこりとした暖かさを感じたと同時にはっとさせられました。家庭で、職場でどれだけの「ありがとう」を言えるチャンスを逃していたのだろうかと。とかく、忙し過ぎると自分のやるべきことばかりに気持ちがいき、周りの存在や周りの光景を無意識のうちに遮断してしまっているときがあります。そんな時、きっと素敵なチャンスを逃してしまっているのでしょう。

気持ちのよい「挨拶」も「ありがとう」も心の中にゆとりがあってこそ出てくる言葉なのかもしれません。どんなに忙しくても「こんにちは」「ありがとう」と心から言えるよう心のゆとりを常にもって生活したいなと感じた一人の生徒の「ありがとう」でした。

～生徒会委員認証式～

４月 21 日（月）生徒会委員認証式がありました。生徒会役員一人一人から決意表明があり、校長から認証書が渡されました。次に各委員会の委員長からの決意表明があり、生徒会長から各委員長に認証書が渡されました。それぞれの言葉からは「やる気」「誇り」「自覚」のような気概が感じられました。そして、校長からは「今までの委員会の仕事に対して疑ってかかり、同じ委員会でも私たちの代はこんな仕事をした」と胸を張って言える活動をしてほしいと励ましの言葉がありました。

～朝読書の様子～

爽やかな朝の様子です。みんな自分たちの好きな本を黙々と読んでいます。

＜読書の効果＞

・好きな本を自分で選び読むことで自主性、主体性が身に付く。
・多くの人の体験や考え方を知り、自分の生き方が変わる。
・自分が読みたい本を読み、自分にとって必要なものが学べる。

＜＜５月の主な予定＞＞

1	木	開校記念日（授業あり）	22	木	運動会全体練習　予行予備日
９	金	学習・部活動保護者会	23	金	運動会前日準備
12	月	全校朝礼 運動会放課後練習（始）	24	土	運動会
13	火	運動会係会（始）	26	月	振替休日
14	水	専門委員会	27	火	運動会予備日
16	金	運動会全体練習、中央委員会	28	水	区一般訪問
21	水	運動会予行	29	木	避難訓練